

## ボートレース福岡経営計画 第1回検討委員会議事録 要旨

### 1 開催日時

令和7年8月7日（木）14時00分～15時30分

### 2 開催場所

ボートレース福岡

### 3 出席者

委員：

合力 知工（福岡大学商学部経営学科 教授）  
川原 武浩（株式会社 ふくや 代表取締役社長）  
中川 久美（福岡観光コンベンションビューロー 観光事業部長）  
古賀 竜介（古賀公認会計士事務所 代表（公認会計士））  
吉川 正弥（全国モーターボート競走施行者協議会 総務部企画財政課長）  
大和 珠未（BOAT RACE 振興会施行者総合支援部施行者支援チーム マネージャー）

福岡市（事務局）：

経済観光文化局ボートレース事業部長  
経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課長  
経済観光文化局ボートレース事業部開催運営課長      ほか

### 4 傍聴人

なし

### 5 議題

ボートレース福岡次期経営計画について

### 6 配布資料

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ ボートレース福岡経営計画検討委員会に関する要綱
- ・ 資料1 ボートレース関係団体について
- ・ 資料2 経営計画（令和8年度～令和12年度）の構成（案）
- ・ 資料3 業界およびボートレース福岡の現状について
- ・ 資料4 前経営計画の振り返り

- ・資料5 経営理念の方向性について
- ・参考資料：ボートレース福岡 アンケート調査票（案）
- ・参考資料：ボートレース福岡経営計画（令和3年度～令和7年度）
- ・参考資料：BOAT RACE 福岡 STAND GUIDE
- ・参考資料：令和7年度ボートレース福岡開催日程表

## 7 議題(要旨)

### (1)委員長の選任について

合力知工委員を委員長に決定した

### (2)《非公開》BOAT RACE 振興会の施策の紹介について

#### (3)ボートレース福岡の次期経営計画について

【事務局】資料2「経営計画の構成案」、資料3「ボートレース業界とボートレース福岡の現状について」の説明

【委員】（全委員からの質問・意見なし。）

【事務局】資料4「前計画の振り返り」 戦略1、戦略2の説明

【委員】1ページ目の「YouTube や SNS を活用した情報発信の強化について」  
YouTube や LINE、X を挙げているが、アプリケーションの開発はしていないのか。

【事務局】ボートレース福岡独自でアプリケーションの開発は行っていない。

【委員】アプリの利用率やダウンロード数を把握しているのか。

【事務局】当场では把握していない。

【委員】アプリの利用者も若い人を中心に増えていく可能性があるため、認知度向上を図る必要がある。

【委員】2ページ目の「外国人観光客の誘致」について、外国人観光客の入場者数や利用者数は把握しているのか。

【事務局】入場時に属性の確認ができないため、来場者の把握はできていない。参考に、総合受付のスタッフに確認したところ、最近外国人観光客が増えてきていると聞いている。場内で外国人を見かける機会も増えてきたと思う。

【委員】2ページの②番について、これまでに開催した集客イベントで集客効果が高かったイベントは何か。

【事務局】最近は選手を起用したイベントに力を入れており、特に人気が高かったイベントは選手がプロデュースした料理企画である。6名の選手が考案した料理を販売し、それを購入したお客さまにステッカーをプレゼントするという企画が大

変好評であった。引き続き開催して欲しいという声をいただいている。その他に、定番はファミリー向けのイベントで集客力が高い傾向にある。今後は、女性向けのイベントも力を入れていきたい。

【委員】一点気になるのは、集客の数と敷地内売上は相関性があるかということ。イベントの集客はあるが、売上があがっていないということはないのか。また選手を起用したイベントというのは、新規顧客の開拓にはつながりにくいのではないかと思う。

【事務局】実際に入場者数が増えて、どのくらい売上が上がっているのかについては、最近の入場者数が横ばい状態であるが、資料3の5ページにあるとおり、敷地内売上は230億円～220億円くらいの水準で前後している状況である。年度によってグレードレースを開催しているので、一概に来場者数の増加が売上向上につながっているのかわからないところではある。今後、アンケート調査を実施する予定であり、その結果から傾向がわかるのではないかと考えている。選手を起用したイベントは新規顧客の開拓につながりにくいというご意見はごもっともであるが、様々なイベントをバランスよく実施し、様々な層に訴求していく必要がある。

【委員】次期経営計画では売上増加を検討するのか、場内の集客アップを検討するのか、どちらをメインに意識されているのか。

【事務局】メインは売上向上で、収益をあげて市の財政に貢献することが我々の一番の使命であると思っている。しかし、ボートレース福岡は入場者数が多く、都市型ボートレース場としての業界からの期待もあると思うので、集客も伸ばしていきたい。

【委員】先ほどあったように集客を売り上げにつなげるということが大事である。イベントということに関して言うと、来年10月に開業するパークについて、ユニークベニューとして、音楽イベントであるとかお祭りであるとか、ボート以外の体験ができるような企画も認知を広げていく必要があるのではないか。インバウンドについて、インフルエンサーを起用して発信してもらう等、検討してよいのではないか。

【事務局】資料4「前計画の振り返り」戦略3の説明

【委員】6ページの財政収支計画の振り返りに関して、一般会計繰出金については、資本的収支と収益的収支のどちらに含まれているのか。

【事務局】一般会計への繰出金は資本的収支に属している。ただ収益的収支で出た利益をこちらの繰出金に充てている。

【委員】この資料を市民に公表するのであれば、一般会計の繰出金がどちらに含まれているのか、収益的収支がどちらの内訳であるかということがわかるように記載

したほうがいい。

【委員】知人がとあるイベントやレース場の名物目当てで、レース場へ行った際に、若い女性客も多数いたと聞いた。レース場の名物も集客のひとつのアイディアにもなると思われる。若い女性の意見交換の場を定期的を開催することもアイディアのひとつではないかと思う。

【事務局】資料5「経営理念の方向性について」の説明

【委員】この場で経営理念を完成させるイメージなのか。

【事務局】いいえ、この場で完成させるということは想定しておらず、ご意見があれば参考にさせていただき、経営理念を定めたい。資料5の太字は事務局として、盛り込みたいワードである。

【委員】現計画の目指すべき方向性を踏襲したいのか、変更したいのか。

【事務局】現計画には「収益を上げて、市財政に貢献する」といったような文言の記載がないので、次期計画の経営理念には盛り込みたい。また、ボートレース福岡が市民に親しまれる施設ということも大事な観点なので盛り込みたい。

【委員】「都市型ボートレース場の特性を活かした」等の文言を入れた方がいいのではないか。

【委員】市民に対して、市財政に貢献しているということをアピールした方がよい。

【委員】ここには記載がないが、SDGsを意識するのもありだと思う。市民の中には、ボートレース＝（イコール）ギャンブルというイメージを持った方もいるので、健全なレジャーであるという文言も盛り込んでよいのではないか。

【委員】現計画に記載した施策で、効果がなかったものや困難であったことがあれば、外す必要もある。「外国人観光客の誘致」の取り組みが困難であったのであれば、経営理念に入れると事業を進めるのが難しいのではないか。

【委員】そうすると「多様な」という文言を入れると難しくなるのではないか。

【委員】経営理念は5年間で更新するものではないと思う。そのため先々の経営のことを考え、言葉を選択した方がよい。福岡市に対してどのように役に立っているか、市民に対してどのように役に立っているかという二点をしっかり盛り込めばよいのではないか。

【委員】地域社会と市民生活に貢献するといった文言が入っていればよいのではないか。

【委員】ボートレースはスポーツの要素があるため、選手を応援するといったことを前面に出すとギャンブル性が薄まるのではないか。

【委員】「スポーツ」を前面に出すというのはよいアイディアであると思う。

【事務局】 参考資料「アンケート調査」について説明

【事務局】 今後、アンケート調査を実施する予定であり、アンケート調査表（案）を配布している。次回の検討委員会の際にアンケート調査の結果をお示ししたい。

【委 員】 これを持ちまして第1回検討委員会を終了させていただく。ありがとうございました。